

CO<sub>2</sub>削減のまちを実践し、健康維持にも役立つ3人乗自転車に助成を  
雨水利用の取り組みの推進と水資源対策について

**中瀬議員**

(1) 子ども2人だと車でしか幼稚園・保育園への送迎もできなかったが、3人乗自転車認可され、自転車での送迎が可能になる。電動自転車も車依存の生活を離れ、適度な運動で健康維持にもなり「CO<sub>2</sub>削減のまち」の大きな看板のスローガンにもつながる。しかし、少々値が張るので普及には助成が必要である。大分市、鹿児島市、前橋市、三鷹市など先行都市にな

(2) 雨水利用と水資源確保の取り組みが急務  
今年の夏も益過ぎからほとんど降雨がない。墨田区の取り組みや三鷹市、市川市などの事例に学びたい。21世紀は水の確保が一番問題である。降水量の多い三重県大台ヶ原には中国の企業が触手を伸ばしてきているようである。

らしい、大村でもぜひ取り組んで欲しいがどうか。

環境部長 (1) 電動アシスト自転車は他県において複数の自治体で実施されているが、その目的は、地球温暖化防止、高齢者の外出支援、経済危機対策など自治体によりまちまちの状況である。本市において、助成目的を地球温暖化防止とした場合、目的に沿った効果が実際得られるか、市民からの需要が見込まれるかの検討が必要になる。また、短期

的な事業では効果が薄いとされるため、長期的に取り組んだ場合、その財源をどのように手当するかなど多くの問題をクリアしていく必要があると思われる。以上のことから、助成制度の創設については今後とも慎重に研究を重ねていきたいと考えている。

用もその中で重要なものである。市においては昨年12月に水資源の保全と利用に関する庁内協議会を設置し、公共施設での雨水施設、一般家庭における雨水の利用について調査研究をしており、先月福岡で開催された雨水ネットワーク会議全国大会や先進地である市川市などの情報を収集するなど、強い関心を持っている。また、今年度から地下水の現状把握等を行う水資源保全調査・解析業務委託を実施し、その中で雨水を地下に浸透させる地下水の涵養を図る浸透施設等の設置可能区域の調査も行う。これらの調査業務の結果に基づき、庁内協議会で十分に調査研究して、実施に向けて検討をしていきたい。

(その他の質問事項)  
・駅前再開発に関連して長崎ラベンダー  
・職員の接遇と庁舎内トイレ  
・町内会のあり方



## 常任委員会活動報告

各委員会は全国の優れた施策、特色あるまちづくりを市政に反映させるため、次のとおり先進地の行政視察を行いました。



東京都青梅市で視察を行う経済文教常任委員会。青梅市では、商店街の空き店舗を利用し、昭和レトロ商品博物館、赤塚不二天会館等を設置、さらにまち全体を昭和の町として博物館化し、活性化を図っています。

大型店舗の郊外展開、交通体系の整備などの影響による商業機能の空洞化は大村市を含め全国的な課題となっています。

岩手県盛岡市で視察を行う厚生常任委員会。盛岡市では、大村市が今年10月1日から設置した消費生活センターを20年以上前から設置しており、庁内各部署、弁護士会と強力な連携体制で多重債務者の生活再建支援を行っています。

多重債務者の数は全国で290万人を超えるといわれており、盛岡市の積極的な取り組みは、全国的に注目されています。

委員会名	期 間	調 査 事 項 ・ 視 察 先
総 務 委 員 会	H21.10.14~16	コミュニティバス事業(戸田市、上田市) 新幹線新駅周辺開発(佐久市) 公有地利活用計画(川越市)
厚 生 委 員 会	H21.10.7~9	消費生活センター(盛岡市) 発達相談支援センター(仙台市)
経 済 文 教 委 員 会	H21.10.6~8	給食費滞納対策(日光市) 空き店舗活用事業(青梅市) P F I方式による給食センター(浦安市)
建 設 環 境 委 員 会	H21.10.5~7	水道事業中期経営計画(和光市) 中心市街地活性化基本計画(甲府市)